

2019年度第5回京都競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 近江特別

近江（おうみ）は、東山道の一国のことで現在の滋賀県にあたる。当時の琵琶湖の呼称「淡海」がそのまま使われるようになった。国内最古のブランド牛と言われる近江牛が有名。

○ 貴船ステーキス

貴船（きぶね）は、京都市左京区鞍馬にある地名。深山幽谷や貴船川の清流が見られ、祈雨祈晴の神として古くから信仰を集めている貴船神社がある。貴船川の川床は座敷から素足を付けることが出来るほど水面が近く、京料理を楽しむことができる川床料理店が軒を連ねる。

○ K B S 京都賞ファンタジーステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に創設された2歳牝馬限定の重賞競走。芝1400m、馬齢重量戦で実施され『阪神ジュベナイルフィリーズ』の関西地区における前哨戦として定着している。

ファンタジー（Fantasy）は、「幻想」を意味する英語。また、文学で夢想的な物語全般を指す。

KBS 京都は、京都市に本社を置く京都放送の呼称。ラジオは昭和26年、テレビは44年開局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 醍醐特別

醍醐（だいご）は、京都市伏見区の醍醐寺を中心とする地域。貞観16年（874）に理源大師聖宝が霊泉を発見し、その「醍醐味」を味わい、寺号としたことが地名の由来となっている。また、豊臣秀吉が盛大な花見を行った場所としても有名。

○ 清水ステーキス

清水（きよみず）は、京都市東山区の清水寺を中心とした一帯。清水寺は、宝亀9年（778）の開創といわれ、山号は音羽山、宗派は北法相宗。「清水の観音さま」「清水の舞台」「音羽の滝」が有名で、多くの参拝者が訪れる。平成6年にはユネスコ世界文化遺産に登録された。また、この地域は清水焼の産地としても有名。

○ みやこステークス（GⅢ）

本競走は、京都競馬場のダート 1800m で実施されていた『トパーズステークス』を、平成 22 年よりオープン特別競走から格上げし、競走名を変更して創設された重賞競走。なお、第 1 着馬には同年のチャンピオンズカップへの優先出走権が与えられる。

みやこは、その国の中央政府の所在地。日本では長く京都がその地であったため、京都を指すことが多い。

<第3日>

○ 京都ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、平成 11 年に創設された障害重賞競走。芝 3170m の別定重量戦で行われる。高さ 80cm、幅約 16m のバンケット障害を使用し、遠近感に乏しい競走馬のみならず、騎手にとっても技量を問われる難度の高い競走となっている。

○ 宝ヶ池特別

宝ヶ池（たからがいけ）は、京都市左京区にある池。池の周辺は宝が池公園として整備されている。園内には雑木林や高野川などが流れており、四季折々の美しい自然を楽しむことが出来る。

○ 観月橋ステークス

観月橋（かんげつきょう）は、京都市伏見区の宇治川に架かる橋。古くは桂橋といい、豊臣秀吉の伏見城築城時に豊後大友氏によって架け替えられた際、豊後橋と呼ばれるようになった。その後、幕末期の鳥羽・伏見の戦いで焼失したが、明治時代に再建され、秀吉の月見の伝説にちなみ、観月橋と名付けられた。

○ デイリー杯2歳ステークス（GⅡ）

本競走は、昭和 41 年に創設された重賞競走。創設時は 1600m だったが、翌年から 1400 m（49 年～52 年は 1200m）に短縮され、平成 9 年より再び 1600m となった。

デイリースポーツは、神戸新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 黄菊賞

黄菊（きぎく）は、黄色い花をつけるキクの総称。キクは日本の国花であり、観賞用、切り花用など、その種類は非常に多い。花言葉は「高貴」「高潔」。

○ 修学院ステークス

修学院（しゅうがくいん）は、京都市左京区の地名。比叡山西麓の近郊農業地帯だったが、昭和 6 年の京都市編入後に市街地化した。名は、比叡山の僧・勝算が平安時代に建立した修学院に由来する。

○ ジャパン・オータムインターナショナル エリザベス女王杯（G I）

本競走は、昭和 45 年に 3 歳牝馬三冠の最終戦として創設された『ビクトリアカップ』を前身とする重賞競走。50 年にエリザベス女王が来日したことを記念して、翌年に現在の競走名に改称された。当初は『ビクトリアカップ』を踏襲し、京都競馬場の芝 2400m、負担重量は定量、3 歳牝馬限定の混合競走で実施されていた。その後、古馬牝馬の競走体系改善に伴い、平成 8 年に競走条件が 3 歳以上の牝馬に変更され、牝馬 No.1 決定戦としての意味合いを持つようになるとともに、距離も 2200m へ短縮された。また、平成 20 年に創設された秋季国際 G I 競走シリーズ『ジャパン・オータムインターナショナル』にも指定されている。

○ ドンカスターカップ

本競走は、ドンカスター競馬場と京都競馬場が姉妹競馬場となったことを記念して、平成元年に創設された競走。1595 年から競馬が行われていたとされる同競馬場では、最古のクラシックレースであり、イギリスの三冠競走のひとつである『セントレジャーステークス』が実施される。

ドンカスター（Doncaster）は、イギリスのイングランド中北部、サウス・ヨークシャー州の都市。ドーン川下流域に位置し、古くは織物や炭鉱の町として栄えていた。

<第 5 日>

○ もちの木賞

もちの木は、モチノキ科の常緑小高木。宮城県、山形県以南琉球列島までと朝鮮半島南部および中国舟山列島の暖帯に分布し、海岸や山野に多く見られる。

なお、京都競馬場のパドック中央には、もちの木が植えられている。

○ 比叡ステークス

比叡（ひえい）は、京都市と滋賀県大津市の境にある比叡山の略称。山頂は京都側の四明ヶ岳と県境の大比叡に分かれる。延暦 7 年（788）に最澄が入山して根本中堂を建立し、延暦寺の勅号を受けて以降、多くの高僧碩徳を輩出し、日本仏教の母山と仰がれている。

現在では、一山寺院 50 余、末寺 3000 寺を誇る天台宗の総本山として有名。

○ アンドロメダステークス（L）

アンドロメダ（Andromeda）は、ペガサス座の北東にある晩秋の代表的な星座。トレミーの 48 星座のひとつ。名は、ギリシア神話に登場するエチオピア王ケフェウスと王妃カシオペイアの娘アンドロメダに由来する。

<第6日>

○ 秋明菊賞

秋明菊（しゅうめいぎく）は、アネモネ属キンポウゲ科の植物の一種。名は、秋頃、菊に似た花を咲かせることに由来する。別名は貴船菊。京都の貴船地方に多く見られ、古くから観賞用として栽培されている。花言葉は「忍耐」「薄れゆく愛」。

○ 嵯峨野特別

嵯峨野（さかの）は、京都市右京区の桂川北東岸一帯の地域。景観が良好で、平安貴族の行楽地として多くの寺社、別荘が建立された。嵯峨天皇の離宮を前身とする大覚寺、平家物語に記されている祇王寺、後醍醐天皇の冥福を祈って足利尊氏が建立した天龍寺、俳人・向井去来が別荘として使っていた落柿舎など、名所や旧跡が多い。

○ ジャパン・オータムインターナショナル マイルチャンピオンシップ（G I）

本競走は、昭和 59 年に創設された重賞競走。日本における競走体系は長く長距離路線が重視されていたが、近代競馬においてスタミナとともにスピードも重視されるようになり、短距離路線についても整備が図られた。文字通りマイラーのチャンピオンを決める一戦として『安田記念』と並び大きな目標となっている。また、平成 20 年に創設された秋季国際 G I 競走シリーズ『ジャパン・オータムインターナショナル』にも指定されている。

○ 西陣ステークス

西陣（にしじん）は、京都市上京区の今出川大宮を中心とした地域の総称。北は鞍馬口通、南は一条町、東は新町通、西は千本通に及ぶ。名は、応仁の乱において西軍の山名宗全が陣を置いたことに由来する。特産品として西陣織が有名。

<第7日>

○ 高雄特別

高雄（たかお）は、京都市右京区の名。清滝川に接し、古くから京都郊外の紅葉の景勝地として有名。高雄（尾）、梅尾（とがのお）、槇尾（まきのお）とともに三尾と呼ばれる。

○ 花園ステークス

花園（はなぞの）は、京都市右京区の地名。名は、清原夏野が別荘のあったこの地に多くの草花を植え、花園と呼ばれたことに由来する。

○ ラジオ N I K K E I 杯京都2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、平成26年にオープン特別から格上げされた重賞競走。昭和34年から続く伝統ある競走で、平成元年まで1400～1600mで実施されていた。その後、2年に1800mに、14年には2000mに距離が延伸され、2歳馬の距離適性を測る競走となっている。

ラジオ NIKKEI は、日経ラジオ社が運営する短波放送局の愛称。前身となる日本短波放送時から中央競馬実況中継をはじめとする様々な競馬番組を提供している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ 白菊賞

白菊（しらぎく）は、白い花をつけるキクの総称。キクは、キク科キク属の植物で、野山に自生する野生ギクと、栽培ギクに大別される。また、栽培ギクには観賞用と食用がある。花言葉は「誠実」「真実」。

○ 渡月橋ステークス

渡月橋（とげつきょう）は、京都市右京区桂川に架かる全長155mの橋。付近にそびえる嵐山の景色を眺めながら、ボート遊びや屋形船、夏には鵜飼を楽しむことが出来る。

○ オータムリーフステークス

オータムリーフ（Autumn Leaf）は、紅葉を意味する英語。京都には紅葉の名所が多く、京阪電鉄沿線には「通天紅葉」で有名な東福寺や宇治の三室戸寺、長岡京市の栗生光明寺などがある。

○ 京阪杯（GⅢ）

本競走は、昭和31年に創設された『京都特別』を前身とする重賞競走。当初は2200mのハンデキャップ戦として実施されていた。36年には現在の競走名に改称され、その後、幾度かの変遷を経て、平成18年より3歳以上、芝1200mの別定重量戦で実施されている。

京阪ホールディングスは、大阪市に本社を置く株式会社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。